



Vancouver,  
Canada

F-COM Group

# サステナビリティ 報告書



2020



株式会社 **エフコム**

F-COM Co.Ltd.



ICTソリューションの提供を通じ、お客様のより良いビジネスパートナーとして、経済・環境・社会に積極的に貢献して参ります。



## INDEX 【目次】

■ トップメッセージ	-----	3
■ 特集1 【健康経営優良法人2020に認定されました】	-----	4
■ 特集2 【With コロナの取り組み】	-----	8
■ 特集3 【GIGAスクール構想】	-----	10
■ イベント協力（地域社会と共に）		
(1) 福島県立聴覚支援学校への『Antenna』贈呈	-----	12
(2) 郡山市へのごみ収集庫の寄贈	-----	12
(3) 中学生職場体験受入とインターンシップ	-----	13
(4) ITマスター派遣	-----	13
■ 人を育む【エフコムの塾】		
社員教育制度（塾制度）について	-----	14
(1) スマイル塾(F-minine活動)	-----	15
(2) FCOMイノベーター育成塾	-----	16
(3) SE塾	-----	16
(4) PM塾	-----	17
(5) こころ塾	-----	17
(6) DX塾	-----	18
(7) 資格取得状況	-----	19
■ 森を育む【エフコムの森】	-----	20
■ 共に育む【エフコムの輪】		
「エフコムのR&D戦略」について	-----	22
(1) 「一般社団法人あいづ地域振興研究所」の活動	-----	24
(2) 「ふくしま創生 創・蓄・省エネルギービジネス創出研究会」の活動	-----	25
■ データセンターが貢献するサステナブル社会		
(1) データセンターの紹介と環境負荷低減	-----	26
(2) データセンターが高度に共助し貢献する「FCAセンター相互応援コンソーシアム」について	-----	27
■ 信頼への取り組み		
(1) 品質向上（ISO9001）への取り組み	-----	28
(2) ITサービスマネジメント（ISO20000）への取り組み	-----	28
(3) 情報セキュリティマネジメント（ISO27001）への取り組み	-----	28
(4) クラウドサービスセキュリティ（ISO27017）への取り組み	-----	29
(5) 個人情報保護（Pマーク）への取り組み	-----	29
(6) 環境マネジメントシステム（ISO14001）への取り組み	-----	29
■ エフコム40周年特集		
40周年記念イベント	-----	30
株式会社エフコム 40年のあゆみ	-----	31
■ ビジネスインフォメーション	-----	38

# トップメッセージ

## Reborn! f-com (リボーン! エフコム)

～創立100年時も持続可能な企業であるために～

エフコムは、国連が2030年までに達成をめざす「持続可能な開発目標 (SDGs)」に賛同し、企業価値を高める活動を積極的に行って参ります。社員の皆さんとともにSDGsについて様々確度から考え「誰も置き去りにしない」世界の実現を目指します。

私どもエフコムは、次代に向けた新たな取り組みへ「Smart thinking for you」をモットーに活動しています。DX(Digital Transformation)の進展により、近未来のサステナブル社会(Society5.0)への変革が進む中、当社の果たすべき役割は多岐にわたり可能性を秘めていると考えます。社員の多様性やステークホルダーとの共創により、様々な社会課題と向き合い、全員野球の「チームエフコム」として、次代を築く活動を推進していく所存です。

そのような状況下において、持続可能な開発目標SDGs(Sustainable Development Goals)を、企業活動に取り込む潮流があります。当社も、SDGsを事業並びに経営へ展開すべく、未来志向で何をすべきなのかを検討しているところです。

毎年発行の当サステナビリティ報告書は、社会における企業価値を考え、社会活動を行っている取り組みを広報してまいりました。今後は、更にSDGs経営やESG(Environment/環境、Social/社会、Governance/企業統治)投資を、本質的かつ普遍的な企業価値と捉え、その実績が広報できるよう取り組みます。そして、ビジネスの力で社会課題を解決し、更なる企業価値の向上へ、より一層の包摂的な社会的責任を果たすべく不断の努力を心掛けてまいります。



### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



株式会社エフコム  
代表取締役社長兼COO

瓜生利典

## 【健康経営優良法人2020に 認定されました】

当社は、2020年3月2日に経済産業省と日本健康会議が主催する健康経営優良法人認定制度の大規模法人部門において、「健康経営優良法人2020」として認定されました。

瓜生社長が「社員それぞれの多様性・人格・個性を尊重し、安全で働きやすい環境を確保すること、そのためには、社員一人ひとりが健康意識を高め積極的に健康増進に努める社内風土を醸成すること、そして、全社員が生き生きと活躍する『チームエフコム』を目指す」と健康経営宣言を表明しております。

健康経営を継続的な取り組みとし、更により良くしていくための次なる目標として

- ・ 検診受診率と精密検査受診率100%
- ・ 長時間労働の撲滅
- ・ メンタルヘルスマネジメント強化
- ・ ICTを活用した運動習慣の企画・実施  
(県民健康アプリやスマホを活用した運動管理)
- ・ 健康ポイントの実施
- ・ 健康経営組織の発足を掲げて活動を進めております。

【健康経営優良法人認定制度とは】～経済産業省HPより抜粋～  
地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。

健康経営に取り組む優良な法人を「見える化」することで、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として社会的に評価を受けることができる環境を整備することを目標としています。

本制度では、規模の大きい企業や医療法人等を対象とした「大規模法人部門」と、中小規模の企業や医療法人等を対象とした「中小規模法人部門」の2つの部門により、それぞれ「健康経営優良法人」を認定しています。



目標の一つでもある、健康経営組織の発足として、この度『健康経営推進WG』が開始しました。そこで今回は、『健康経営推進WG』のメンバーに、WGに対する想いと、これからの活動についての意気込みを語って頂きました！



# 『健康推進WG』活動状況報告

## Q1. WGメンバーを依頼された時の思いを聞かせてください！



インフラサービス部  
遠藤貴人さん

**遠藤** メンバーに選ばれたことも驚きでしたが、主査というポジションにさらに驚きました。不安だらけでしたが、期待されているということが嬉しかったです。メンバーを見たときに、楽しいWGになるなって思いました。

**五十嵐** 私も驚きました。活発でもないし、体力ない側の代表か…とかいろいろ考えましたが、選んでいただけたことは嬉しかったです。

心も体も健康じゃないと働くことすらできないので、働くうえで土台となる部分をらせていただけたと思ったら、重みも感じましたが、今一緒に働いている皆さんと定年まで楽しく元気に働きたいので、健康面から職場環境をより良くできるよう、しっかり取り組みたいと思いました！



DCサービス部  
五十嵐香織さん



医療ソリューション部  
片倉貴之さん  
(業務都合により誌上のみ参加)

**片倉** お声がけいただいた時は、「自分でいいのでしょうか？」という気持ちでしたが、社員の健康、自分の健康の為に精いっぱい活動したいと思うようになりました。

**伊藤** メンバーに選出頂いた時は、正直健康に心当たりがあったのでとても驚きました。この機会を大切に自分ができることを精一杯できればと思います。

また、このメンバーだからこそできることがたくさんあるかと思っています。このWGを通してより皆様の健康にプラスになることを推進していきたいです。



文教営業部  
伊藤裕之さん

**渡邊** メンバーに選任されたと聞いた時は、とても嬉しかったです。会社や社員ののために私にできることは何かと考え始めましたが、まずは私たち自身が楽しみながら自分の健康を意識していくことが大切ではないかと思っています。

会社が今よりもっともっと成長していくためには、ひとりひとりの健康を維持すること、自分自身で健康を管理していくことが大事だと感じています。

皆さんを巻き込んでチームエフコムで活動できるように率先して行動したいと思いました。



人事総務部  
渡邊有希乃 (記事作成者)

**田母神** 本当に自分が選ばれたのかというとまどいでいっぱいでした。お世辞にも健康とは言えない体形ですし(笑) そんな人が参加するのは場違いなのではと思っていました。

エフコムマーケティング  
総務部

田母神渉さん  
(オンラインにて参加)



事務局 (人事総務部)  
後藤担当部長 長嶺リーダー

# 『健康推進WG』

## ～ 活動状況 そして 今後の活動 ～

### Q2. WG発足後の活動状況を教えてください！

**遠藤** キックオフをWeb会議で行い、年間計画、今後の方針について意見を出し合いました。

**片倉** 第一弾はウォーキングですが、今後のイベントも開催して盛り上げたいと思っています。

**五十嵐** 今年度の年間活動計画を策定し、その中から、まずは各拠点へぶら下がり健康器の設置を行いました。



ぶらさがる前に  
手の消毒を！！

健康経営推進WG



### Q3. 現状の活動状況は？

**五十嵐** ぶら下がり健康器については、設置後すぐにいろいろな方が興味を持って声をかけてきてくださったので、健康を意識する良いきっかけになったと思っています。ウォーキングについてはWGで意見を出し合い、ハードルを低めに設定したり、がんばったご褒美を用意するなど、気軽に参加いただけるような企画にして実施しました。また、運動中やイベント実施時の感染症対策についても都度相談しながら進めています。

**田母神** 東京ではイベント開催が難しい状況なので、来年度に向けてイベント開催のイメージ作りを行っています。

**渡邊** 企画第一弾として、ウォーキングイベントを開催しました！今年度はコロナ対策をして、

- ①開催場所・開催日の分散（会津／福島・各1日ずつ）
- ②スタート時間の分散（自由スタート・自由解散）
- ③昼食の廃止（軽食を受け取り終了）等を講じての実施となりました。

1回目に実施した会津レクリエーション公園でのウォーキングイベント参加者は合計で86名（家族含む）となり、大変好評のイベントとなりました。

天気にも恵まれ、心もカラダもすっきりリフレッシュすることができ、参加した方々からも『天気も良くて運動不足の体でも気持ちよく歩くことができました。終わった後はそれなりに疲れを感じたので、こういった社内イベントに参加して運動不足を解消していきたいです』という感想を頂きました。

WGとしても企画／実行できて良かったと思っています。



### 特集①

## 健康ウォーク in 会津レクリエーション公園

10月31日（土）に「健康経営推進WG」のイベントとして「健康ウォーク in 会津レクリエーション公園」が開催されました。

今年度はコロナ対策として、  
 ①開催場所・開催日の分散  
 ②スタート時間の分散（自由スタート・自由解散）  
 ③昼食の廃止（軽食を受け取り終了）  
 等を講じての実施となりました。

**参加者よりコメント**

普段、家族で「ウォーキングに行こう！」とはならないのですが、会社のイベントとなると息子と楽しく参加することができました。ちょうどよい距離、紅葉、軽食、ご褒美、と大満足でした。ありがとうございました！  
 二郷 ナオさん (FCOM DC外七次部)

今回初めて健康ウォークに参加しました。天気も良くて運動不足の体でも気持ちよく歩くことができました。終わった後はそれなりに疲れを感じたので、こういった社内イベントに参加して運動不足を解消していきたいです。  
 半澤 大貴さん (FCOM ｲﾝﾌﾗｰﾍﾞﾝｽ部)

天気が良かったので、色づいた葉の景観がよーく見えて良かったです。そして、事務所に設置されていたベンチからの景観がよく、その 鳴き声 ベンチ で飲む珈琲は至高の一杯でした。  
 ※マムシ、インシシジミの看板には、ビビりました。  
 吉田 広重さん (FCOM 医療営業部)

今回の健康ウォークを機に、初めて会津レクリエーション公園に行かせていただきました。天気に恵まれ、公園内をぐるっと一周する間に、トンボが飛びまわったり、大きなススキを見たりと自然を楽しむことができました。また、湧き水も当たったこともあり、「もろはく」で天然ミネラル水を飲んで、良い1日を過ごすことができました。  
 阿久津 智則さん (FCOM 国保課外七次部)

**遠藤** 第一弾のウォーキングイベントが実施でき、ほっとしています。様々な制約がある中で、より多くの社員に参加してもらえよう活動を継続していくにはどうしたらいいかと考え、工夫をしています。

メンバー全員が積極的に意見を出し合い、協力して準備を進めることができる良いチームです！



# 特集 2

## 【With コロナの取り組み】

新型コロナウイルスの収束が見通すことができない中でWithコロナへの取り組みが重要不可欠となっており、当社では様々な感染症対策を行っております。基本的な手洗い、手指の消毒は勿論、人との接触を極力避けるための時差出勤、在宅勤務の推奨、オンライン会議、オンライン診療の活用など工夫しながら健康管理に努めております。

### 1. マスク着用と手指消毒について

出社前には必ず体温を計ること、平熱より少し高い場合や体調が優れない場合は上職者へ連絡し、休暇を取るか、在宅勤務とするか指示を受けることになっております。当社の事業所すべての入り口に手指消毒用アルコールを設置し、オフィスへの入室時には必ず消毒すること、勤務中は常にマスク着用することを義務付けております。

応接室や会議室には、アルコール除菌シートを常備し、ミーティング終了後にテーブルや椅子の除菌作業を行っております。

※マスクは各フロアに常備しております。



### 2. 体温検知について

福島さくらオフィス、会津オフィスは24時間365日稼働することが求められる最も重要な拠点となっており、入館者の体調管理を徹底しております。

入り口にAI体温検知カメラシステムを導入し、発熱リスク者を事前に検知するとともに、マスク未着用者には音声で警告しております。体温が高い場合は接触式体温計での計り直しをお願いしております。



### 3. 在宅勤務・サテライトオフィスについて

当社はセキュリティ／ガバナンスの観点から社員一人ひとりにシンクライアント端末を配布しており、社外から社内ネットワークに接続し、業務ができる環境が整備されておりました。さらに在宅でも業務ができるようにフレックスタイム制度を全社員に適用し、約7割の社員が在宅勤務を利用しております。

また郡山本社、福島UNIXビル、会津A i c tの各オフィスではサテライトオフィス用として専用の座席を準備しました。どのオフィスでも同様のネットワークとセキュリティが担保されることから、働き方の柔軟性と多様性の促進につながっております。



郡山本社



福島UNIX

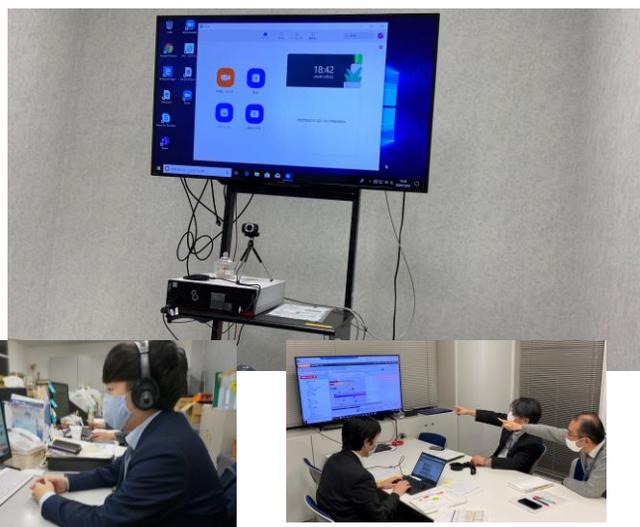


会津A i c t

### 4. オンライン会議について

21箇所全ての会議室にてオンライン会議ができるように大型ディスプレイとカメラを設置しました。お客様や取引先企業様、協力会社様のシステム利用状況によりZoom、Teams、Skypeを利用しています。

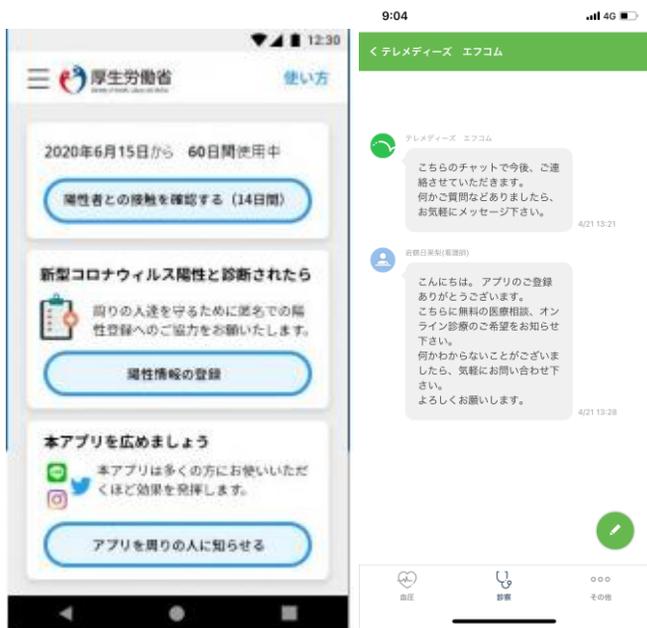
また全社員にOffice365アカウントを配布し、自端末を使いどこでもオンライン会議が実施できるように準備を進めております。



### 5. アプリの利用について

全社員に配布されているスマートフォンには接触確認アプリCOCO Aをインストールし、常に携帯することが義務付けられています。接触確認の通知が来た場合は社内エスカレーションルールに則り、速やかに上職者へ報告することになっております。

また一般社団法人テレメディーズと業務委託契約を結び、同社が提供するスマートフォンアプリを利用し、オンラインによる医療相談ができるようになっております（診察の場合は個人負担となります）。



\* 画面イメージ

# 特集 3

## 【GIGAスクール構想】

当社は、教育情報化及びインターネットの黎明期よりフロンティアの一員として、教育用コンピュータ及びネットワークの整備等の導入構築や現場サポートに数多く携わって参りました。

これまで培ったノウハウ、経験等を最大限活かし、新世代の情報端末やネットワーク、IoT、ビッグデータ、AIなど進化し続けるICT環境に対応し、子供たちや先生方起点でのトータルサポートで、国（文部科学省）が掲げる「GIGAスクール構想」の実現に寄与いたします。

### GIGAスクール構想

- ✓ 1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する
- ✓ これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す



### 1人1台端末は令和の学びの「スタンダード」

多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、子供たち一人一人に公正に個別最適化され、資質・能力を一層確実に育成できる教育ICT環境の実現へ



学校現場に求められる、全ての要素を当社で提供可能

ソフトウェア

ネットワーク構築

ハードウェア

セキュリティ

教育ICT支援

保守サポート

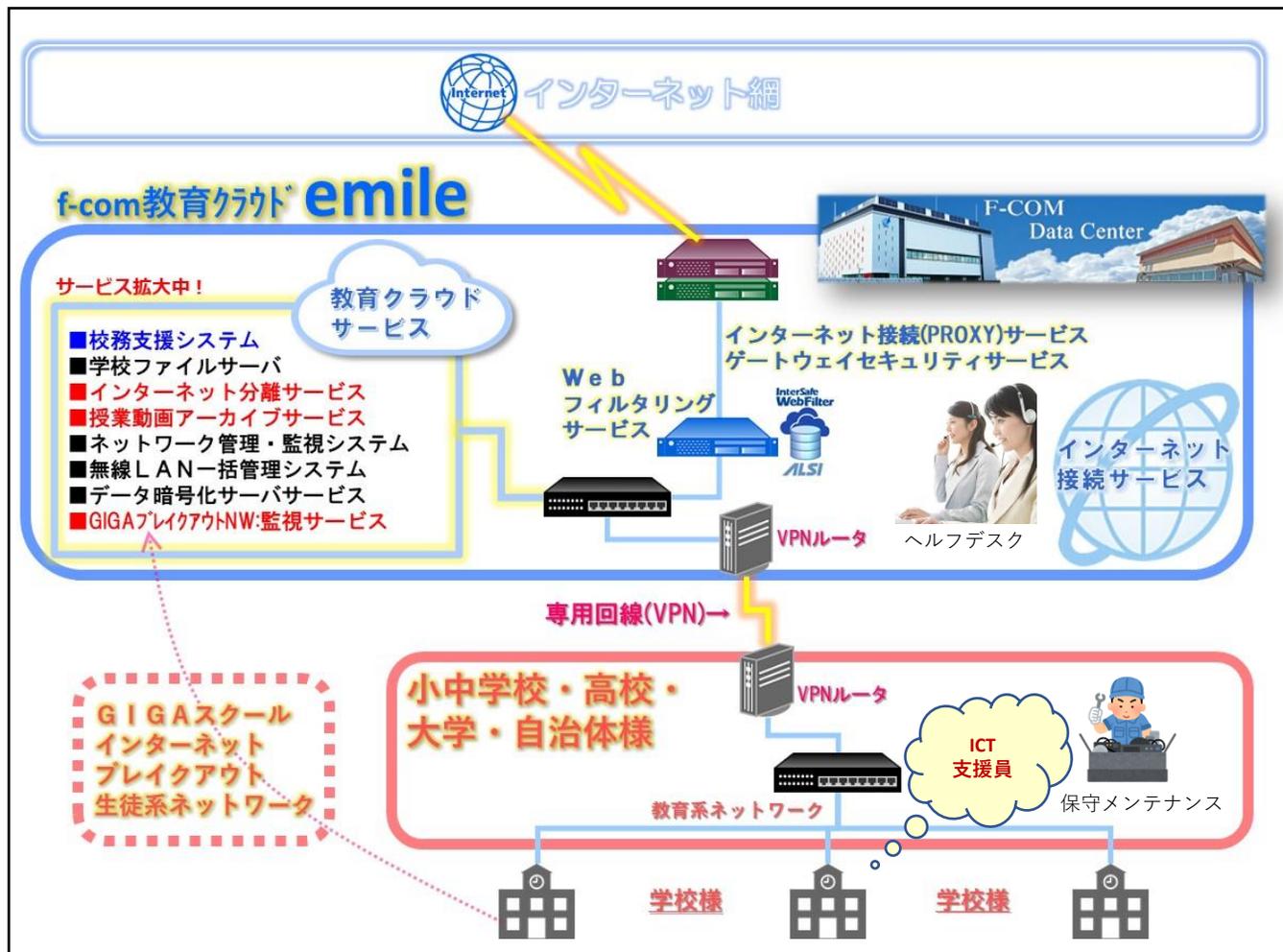
2020年度は、「GIGAスクール整備事業」において、当社は約3万6千台の情報端末（タブレット等）の導入及び校内無線LAN環境の整備を担当いたしました。物不足やコロナ禍の導入等、色々大変苦労いたしましたがお客様（教育委員会、各学校様）や各メーカーのご理解ご協力のもと無事に納品完了することが出来ました。

2021年度以降は、「アフターGIGA」と位置づけ、教育現場における更なるICT利活用の支援及びサポートを充実して参ります（児童生徒及び先生方のために！）

## ■ 実際に納入したPC保管庫（充電機能付き）に格納された情報端末（タブレット）



## ■ 持続可能で最適なICT教育を支える当社の文教ソリューション



# イベント協力（地域社会と共に）

## （1）福島県立聴覚支援学校への『Antenna』贈呈

＜Antenna（オンテナ）とは？＞

オンテナは髪の毛や耳たぶ、襟元や袖口などに身につけ、振動と光によって音の特徴を体で感じる電子機器です。「音を感じるアンテナ」という意味で「オンテナ」と名づけられています。

Antennaのしくみは60～90dBの音を256段階の振動と光の強さに変換し、音の特徴を伝達します。音源の鳴動パターンをリアルタイムに変換することで、音のリズムやパターン、大きさを知覚することができます。コントローラーを用いることで、複数のAntennaを同時に制御できるようになりました。



### ■贈呈者

富士通株式会社  
株式会社エフコム

### ■エフコム贈呈内容

Antenna本体（充電スタンド、スタンドケーブル付） 9台  
SONY製コンデンサーマイク（ECM-PC60） 4台



福島民報 2020年1月22日掲載

本件の贈呈式は、福島民報他新聞でも音を光と振動に変換する新しいICT分野の取組として 取りあげられました。

贈呈式は郡山市の県立聴覚支援学校本校で行われました。式では校長先生からの感謝状を当社の瓜生社長が拝受しました。今回は、富士通様とエフコムでの寄贈というはこびになりました。Antenna本体、コントローラ、マイクを本校、分校含めた4ヶ所所で使っております。



## （2）郡山市へのごみ収集庫の寄贈

カラスなどに荒らされ散らかったごみは、まちの美観を損なうだけでなく、ごみ収集にも支障をきたします。エフコムでは、地域美化推進の一助として、本社が所在する福島県郡山市へ「ごみ収集庫」を寄贈しました。「ごみ収集庫」を設置することで、カラスや猫などによるごみの散乱防止に役立てていただいております。今後も美しいまちづくりに少しでも貢献するために取り組みを進めてまいります。

### ■贈呈内容

メッシュごみ収集庫(KDB-1500N) 10台



↑ 郡山市長より感謝状をいただきました

↑ 実際に設置されたごみ収集庫

### (3) 中学生職場体験受入とインターンシップ

オンラインインターンシップ  
【入門編】グループワークの様子

#### 【インターンシップ】

当社では、夏季・冬季休暇を利用し、大学生向けの「インターンシップ」をオンラインにて実施しています。研修は、「自己分析」& 「システムエンジニアにとって一番大事なことは何か？」をグループワーク形式にて体感する内容となっています。また今年度は、オンライン研修を入門編、来社型を「応用編」として、応用編ではDXチームメンバーの社員と一緒に実業務を体験していただきました。参加者からは「システムエンジニアの仕事のイメージが具体的になった」「時間に対する考え方が印象に残った」「AIの仕組みを知ることができた」など、様々な感想を頂きました。



#### 【職場体験】

例年、地元郡山市内の中学校からの依頼による職場体験も実施しています。今年は実施できませんでしたが、ここ数年、3校から各校5名程度の生徒さんが参加し、コンピューターのセキュリティに関することや、LEGOロボットを操作するプログラミング体験を通し、働くことや、会社について等、様々なことを学んでいただいています。

「プログラミングで思う通りに動いた時は嬉しかった」というお手紙も頂きました。将来、エフコムと一緒に働けることを楽しみにしています。

← LEGOプログラミング体験の様子

### (4) ITマスター派遣

厚生労働省は、IT関連の優れた技能を持つ技能者を「ITマスター」として認定し、「若年技能者人材育成支援等事業」において学校等へ派遣、各種講習を実施する取り組みを平成28（2016）年度より実施しています。

当社では、これまでに6名がITマスター認定を受け、福島県内の小学校において延べ7回の講座を実施しています。講座の内容は、主にロボットとタブレットを用いたブロックプログラミング体験、および、情報モラルについての説明です。

初めてプログラミングに取り組む児童生徒とそうでない児童生徒と習熟度は学校によってさまざまですが、いずれの場合も熱心に講座に取り組み、こちらの想像をはるかに超えるユニークなプログラムを披露してくれるので、デジタルネイティブ世代の凄さを感じると共に、我々も負けぬように技術を磨いていかなければと強く思います。

今後も本活動を通して、地域の子どものためのITリテラシー向上に貢献してまいります。



ITマスター認定職種	当社の認定者数
ITネットワークシステム管理	1
オフィスソフトウェア・ソリューション	5
ウェブデザイン	1
ロボットソフト組込	1

※複数職種の認定を受けている社員がいるため合計が6とならない



# 人を育む【エフコム の 塾】

当社の重要な経営資源である『人財』が活躍するための塾を定期的に開催しています。お客様のニーズにお応えするため、開発やプロジェクト管理スキルだけではなく、ヒューマンスキルの向上にも重点を置き、『人間力』の向上を目的に社員自らが講師となり、チームで成長できる取り組みを推進しています。

## 【教育方針】

- ◆企業理念と行動指針に基づく自発的行動と統制のとれた組織体作りを目標とする
- ◆ベンチャー精神溢れる優良企業への発展を目指す
- ◆上司・部下が行動、能力、業績の目標を共有し、それらを成長指標とする
- ◆自己啓発と自立型人材の育成を目指す

## ◆エフコムスマイル塾

エフコム内女性WG「F-minine活動」が中心となり、全社員に向けて健康やキャリアデザイン、美化活動など職場環境改善へ取り組んでいます。

## ◆こころ塾

『こころを込めて育成に取り組む』

『こころのこもったお客様対応を』

を実現するために必要なヒューマンスキル、ソリューションスキルの向上に取り組んでいます。

## ◆イノベータ育成塾

「まだ世界の誰も気づいていない『新しい価値』を提案し、顧客の日常体験を180度変えること」と定義し、どのようなお客様（顧客セグメント）に、どのような新体験の提供が可能か（価値提案）に焦点を当て、イノベーションの創出に挑戦しています。

## ◆PM塾 SE塾

「プロジェクトの成功はお客様の幸せ」と考え、プロジェクトを成功するための基礎知識や経験を伝えるPM塾、そして若手育成を目的とし開発基礎知識を深めるよう取り組んでいます。

## ◆DX塾

企業が避けて通れないデジタル技術による業務やビジネスの変革をビジネスチャンスと捉え、当社での取り組み事例や外部講師による勉強会を開催し、自身の業務への適用を模索するための機会として取り組んでいます。

## 【社内教育制度体系図】



## (1) エフコムスマイル塾(F-minine活動)

### ◆美化活動・コロナウイルス対策

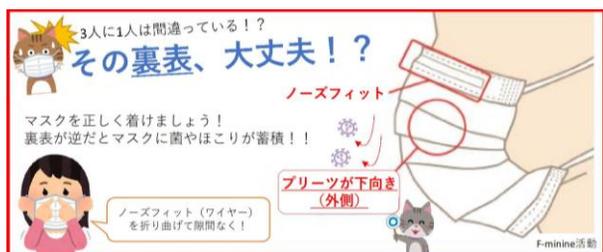
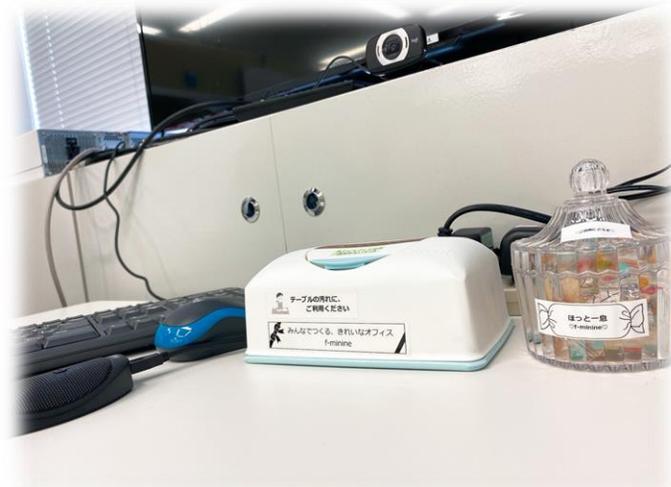
昨年、美化活動の試験運用として福島さくらDC休憩所で行ったウェットティッシュの設置を、全拠点の共有スペース、会議室でも開始致しました。

また、社員への癒し、風邪・インフルエンザ予防としてアメの設置も同時に行いました。アメの外袋は「ありがとう」「Thank you」などのメッセージ入りで、社内だけでなく来社いただいたお客様にも好評であるとのこと意見をいただきました。



コロナウイルス対策ではマスクを誤って着用している社員が多いとの指摘があり、社内配布用マスクの外箱に注意書きを貼り配付しました。

そのほか各フロアへ注意喚起の貼り紙をし、社員の方ひとりひとりが感染防止への意識を高めていただくよう啓蒙活動を行っております。



### ◆こおりやま☆キラリンさんに登録されました

郡山市の女性活躍に関するロールモデルを紹介する「こおりやま☆キラリンさん」に、F-minine活動が登録・紹介されました。

「こおりやま☆キラリンさん」とは、郡山市男女共同参画課が、市のウェブサイトを活用した情報発信により、女性活躍に関する意識を高揚させ、人材活用の機会創出を図るために行っている企画です。

F-minine活動が社内だけでなく外部へも広く認知されることで、エフコムで活躍したいと考えている女性の背中を押すことができるのではないかと期待しております。

～キラリンさんのご紹介(根本万真さん)～

根本万真さん			
基本情報			
ふりがな	ねもと まみ さん		
所属団体	勤務先	名称	株式会社エフコム
		役職等	会社員(経理部)
	連絡先	電話	024-922-2555
		ウェブ	<a href="https://www.f.com.co.jp">https://www.f.com.co.jp</a>



女性目線のきめ細やかな気遣いと気づきにより職場環境の改善へ!



郡山市ウェブサイトより  
(上) キラリンさんロゴマーク

郡山市ウェブサイト こおりやま☆キラリンさん  
F-minine活動紹介ページ

[https://www.city.koriyama.lg.jp/kurashi/jinken\\_danjokyodosankaku/jyoseikatsuyaku/kirarin/24880.html](https://www.city.koriyama.lg.jp/kurashi/jinken_danjokyodosankaku/jyoseikatsuyaku/kirarin/24880.html)

## (2) FCOMイノベーター育成塾

◆ 2019年度は、5つの新ビジネスアイデアが誕生！

### 【第2回 FCOMイノベーター育成塾 最終発表会題目】

- スポーツの創生
- 「聞ける！」マニュアル作成サービス
- 保育所(士)向けBPOサービス～本来の保育業務に集中できる環境～
- スマートシティアプリの提供～面倒な手続きの簡略化～
- アルバイト人材「評価データベース」



◆ 2020年度は、9名の社員が新ビジネスの立案！

### 【第3回 FCOMイノベーター育成塾 最終発表会題目一覧】

- 野球特化型ジム
- ライフラインにおける手間な契約手続きを効率化する
- 年末年始のごあいさつ訪問&カレンダー配布調整サービス
- 電話対応を限りなくゼロにする、ナレッジ蓄積&FAQ構築サービス
- 入札参加資格審査申請の受付ワンストップ化及び入札情報の発信・入札プラットフォームの提案事業
- すぐに捨てられないドアノックチラシ制作サービス～お客様訪問・会話のきっかけをつくるために～
- 大学生一人一台ノートPC整備事業（既存ビジネスの改善！）
- 全国連合会ネットワークシステム
- システム構築後の積極的な機能改善開発

## (3) SE塾

### ◆SE塾概要

2016年より若手SEのスキル向上を目的に隔月程度の勉強会を実施しています。

若手SEを対象にした開発基礎講座や、経験のある内部社員による仕事の進め方や事例紹介など、様々な内容の勉強会を開催しています。

### ◆SE塾の目的

- (1) 仕事の考え方・進め方(セオリー)を共有・継承する。
- (2) 知識(技術・事例)を共有・継承する。
- (3) 論理力・コミュニケーション力を強化する。(継続的な鍛錬)
- (4) 講座内容や講座後の意見交換により所属間の親交を深める。



### ◆日程とテーマ

日程	テーマ
第1回 2020年7月22日(水)	ネットワークの基礎
第1.5回 7月28日(水)	ネットワークの基礎(続き)
第2回 9月16日(水)	ソフトウェア品質確保の基本
第3回 12月17日(木)	システム要件の基礎
第4回 2021年2月17日(水)	システム設計の基礎

## (4) PM塾

### ◆PM塾の概要

2019年度より、プロジェクトを成功裏に収めるための基本知識の習得、勘所の理解、悩みの相談の場として、現場の最前線でプロジェクトマネージャとして活躍している社員が講師となり、自身の経験を交えながら、隔月程度に1回、1時間半の勉強会として『PM塾』を行っております。

### ◆PM塾の目的

- (1) プロジェクト管理の基本知識（セオリー）と技法（お作法）の習得
- (2) 実際のプロジェクト推進事例によるノウハウの共有と横展開
- (3) プロジェクトを共にする部門間（SE間/現業間）の繋がりの強化



### ◆日程とテーマ

日程	テーマ
第1回 2020年8月20日（木）	プロジェクト成功条件と秘訣
第2回 10月14日（水）	プロジェクト計画
第3回 2021年1月13日（水）	外部講師による講義
第4回 3月17日（水）	未開拓技術を取り込んだ大規模プロジェクトの推進（事例共有）

## (5) こころ塾

### ◆こころ塾の概要

2019年度～2020年度も前年度から引き続き「基本に戻る」「スキルボトムアップ」をテーマとして開催し、前年度より一段レベルアップした内容で開催する事にしました。コロナ禍の影響により2020年3月から7月まで開催を控えておりましたが、社内の状況を踏まえ8月より再開致しました。

講座に関しましては、前年同様、受講機会を増やすため、同じ講座を2回開催する事としております。コロナ禍の影響で一時的に開催を中断しておりましたが、実績として12講開催、延べ160人の方に参加頂きました。今後もコロナ禍の状況を鑑みながら講座を開催し部門員のスキルアップの契機として活用頂きます。

### ◆こころ塾という名前について

人を育てるためには”こころを込めて！”そして”心のこもったお客様対応”をするためにはヒューマンスキル・テクニカルスキルを向上させ、より良いサービスとソリューションをご提供することが大切。との趣旨から命名しています。



テレビ会議による参加の様子

## (6) DX塾

### ◆2020年6月『DX塾』始動

従来のSE塾、PM塾に加え、DXの取り組みの一環としてDX塾を開講いたしました。当社で実施した取り組み事例や大学との共同研究事例の紹介、外部講師による勉強会等、気軽に身近なDXに触れ、自身の業務への適用を模索する良い機会にもなります。

### ◆DX (Digital Transformation) とは

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズをもとに、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

(経済産業省「DX 推進ガイドライン」2018年12月)

### ◆当社のDXの定義

当社のDXの定義は、初めから目標を高くするのではなく、身近な業務や目前のシステムに新しい技術・ツールを融合することで、既存ビジネスの活性化・価値向上を実現することです。

つまり、デジタル技術を用いて、

- ①業務改革・効率化（特に既存領域外を対象）を図る
- ②新しい価値（利益）を獲得することです。



### ◆DX塾の目的

- (1) デジタル時代に対するリテラシーの習得とマインドチェンジ
- (2) トレンドやベースとなる要素技術の認知
- (3) DX取組状況の共有と横展開・応用

### ◆日程とテーマ

日程	テーマ
第1回 2020年6月24日(水)	2019年度R&D業務の共有①
第2回 7月16日(木)	2019年度R&D業務の共有②
第3回 8月25日(火)	スマートデバイス、一般利用者向けアプリケーションのUI/UXの勘所(事例紹介)
第4回 9月23日(水)	顧客を巻き込んだ共同開発/共同研究チームで求められるコミュニケーション(ツールとプロセス)
第5回 11月25日(水)	富士通様によるアジャイル開発勉強会
第6回 12月23日(水)	2020年度R&D業務の共有



社員が講師を務めた講義の様子

## (7) 資格取得状況

当社の社員は自己啓発により個人の目標を達成すべく、様々な資格取得に挑戦しております。また、当社は受験料補助・講習会受講料負担・合格一時金支給など、社員のキャリア形成にも有益な各種資格の取得支援を積極的に行っています。

### 【資格取得状況】

2020年10月現在

資 格 名		人数	資 格 名		人数
情報処理技術者試験	システム監査技術者	1	メーカー系資格	オラクルマスター (ゴールド/シルバー)	16
	ITストラテジスト	2		シスコ技術者認定(CCNA,CCNP)	11
	システムアーキテクト	4		Vmware認定	5
	プロジェクトマネージャー	4		マイクロソフト(MCP)	42
	ネットワークスペシャリスト	10		オラクル認定 javaプログラマー	9
	データベーススペシャリスト	6		中小企業診断士	1
	情報処理安全確保支援士	9	米国PMI認定PMP	1	
	情報セキュリティスペシャリスト	17	医療情報技師能力検定	13	
	ITサービスマネージャー	5	教育情報化コーディネーター	8	
	応用情報技術者	37	ITマスター	6	
	基本情報技術者	148	2級キャリアコンサルティング技能士 (国家資格)	1	
	情報セキュリティマネジメント	22	キャリアコンサルタント(国家資格)	4	
ITパスポート	122	その他	ITIL Foundation(ファウンデーション)	26	
監査/審査/その他	ITコーディネーター	2	CompTIA	52	
	内部監査士(補)	1	ネットワーク情報セキュリティーマネージャー (NISM)	1	
	プライバシーマーク審査員 (補含)	3	.Com Master(シングル/ダブルスター)	3	
	ISO27001審査員(補)	3	電気通信工事担任者(総合/デジタル/アナログ)	7	
	ISO9001審査員(補)	1	電気工事士(二種)	5	
	ISO14001審査員(補)	1	日商簿記検定(1級/2級)	27	
	公認システム鑑定人(補)	1	秘書検定(1級/2級)	20	
	公認情報セキュリティー監査人 (補)	1	ビジネスキャリア検定	52	

# 森を育む【エフコムの森】

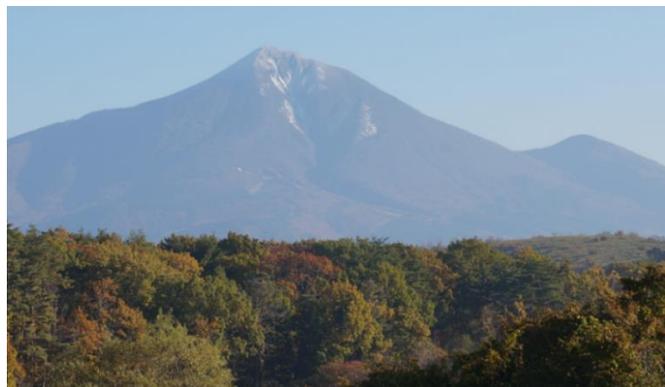


## ロケーションの紹介



- 所在地：会津若松市河東町
- 広さ：44.5ha(東京ドームの9.5倍)
- 樹種：針葉樹と広葉樹の混合林

磐梯山の南西山麓のとても静かな場所にあるのが、エフコムの森です。この森の意味は、環境共生というやや難しいテーマでは無く、単に社員やその家族の憩いの場として親んでもらう事にあります。森は針葉樹、広葉樹からなり、小川や沼もあるまさに憩いの場としては最高のロケーションです。



## 柏(かしわ)の木は百年続く企業の守り木

エフコムの森の広葉樹はコナラが多勢を占めます。その中で柏の木も比較的多く、翌年に新芽が出るまで古い葉が落ちない特性から「代が途切れない」縁起物として柏餅に用いられています。端午の節句に柏餅を食べるのもその由縁です。

百年続く企業を目指すエフコムにとっては正に縁起ものであり、大切にしていきたいと思えます。



## 憩いの場としての活用

毎年10月または11月に、エフコムの森活用イベントとして「エフコムの森やま学校」を開催しています。

今年度はコロナウイルス感染拡大の影響により、開催できていませんが、例年、講師に本職のきこりさんを招いて、本職のきこりさんによる樹木伐採の見学、チェーンソー体験、まさかりでの薪割り体験、ロープを使ったツリーイング、散策路を回るウォーキングなど、多様な活動を行っています。参加者からは、普段の生活では体験できない森での作業を体感できると毎年大盛況です。

2019年には、新入社員による桐の植樹も行いました。



## 水が豊富

エフコムの森には小さな綺麗な小川が流れており、いずれは水芭蕉とホタルが飛び交う環境へ再生したいと思います。ホタルが住む環境を維持する事もかなり大変な努力が必要ですが、皆で頑張ります。



## 木の実が豊富

木の実が豊富なのは森が豊かな証拠です。また、動物達を呼ぶ事になるので自然の回生が働き、更に森が豊かになります。



## 桐の植樹祭

■豊かな森を作るための活動の一環として、2019年に桐の植樹祭を開催しました。  
厳しい寒さと豪雪が特徴的な気候である会津で生み出される「会津桐」は、緻密で美しい年輪を備えた光沢が特徴であり、全国の桐材のおよそ4割が福島県産といわれています。

### 《植樹祭の様子》



### 《今年の桐の様子》

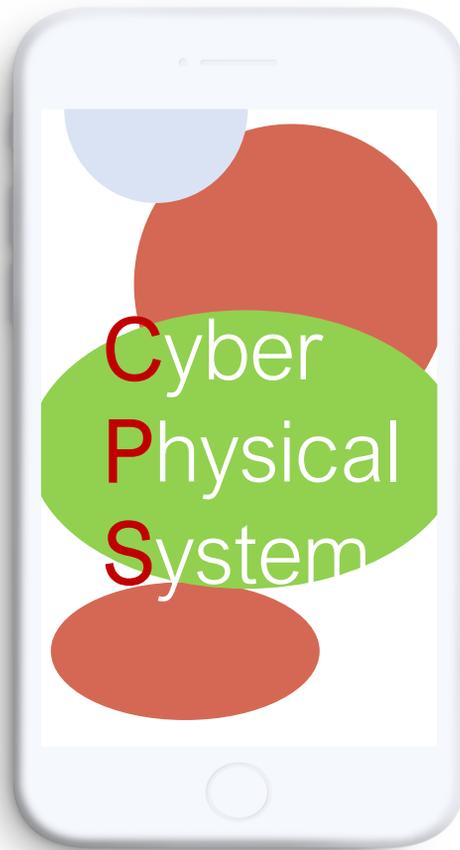
2020年度はコロナウイルス感染拡大の影響もあり、森における各種活動を行うことはできませんでしたが、植樹された全ての木がすくすくと育っています。

今後も成長を見守ってまいります。



# 共に育む【エフコムの輪】

## エフコムの「R&D戦略」について

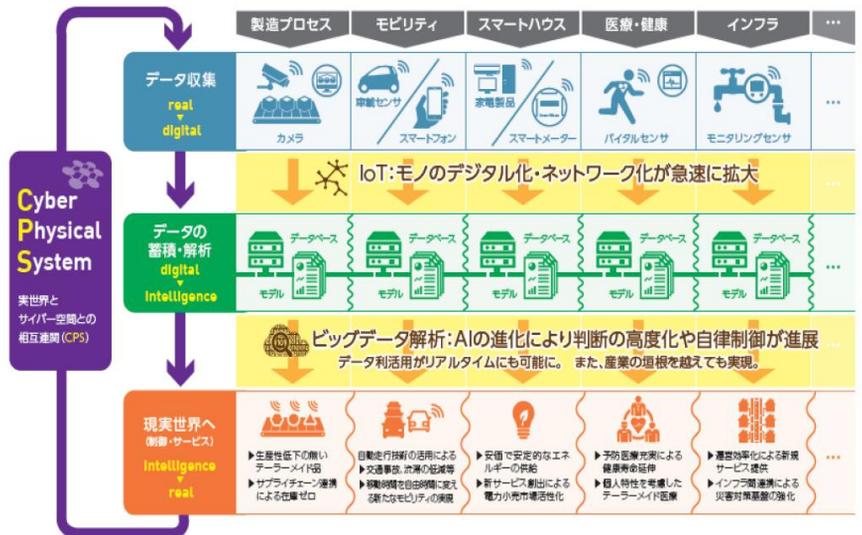


お客様の社会課題解決を担える  
要素技術の習得から事業創出を目指します。

### データ駆動型社会

当社でもR&D案件として、一昨年より会津大学様から受託し製造業のデータ解析、小売業のデータ解析に取り組んでいます。地域DXとは、データを集積し解析し、フィードバックする、この一連の流れ、CPSそのもののサービスプロバイダーとなる事であると理解しています。

**国策であるデジタル化**に様々参画し事業化へと進化して行けるように取り組んでいきます。



### 【R&Dのアプローチと活動】

➤ ミッションステートメント：未来志向の成長戦略を具現化する研究・開発の推進

イノベーターやイントラプレナー（社内起業家）人財を育成し、オープンイノベーションおよびデジタルトランスフォーメーションによってお客様の期待に応えられるサービスを提供するための推進役となることです。

### イノベーション(Innovation)

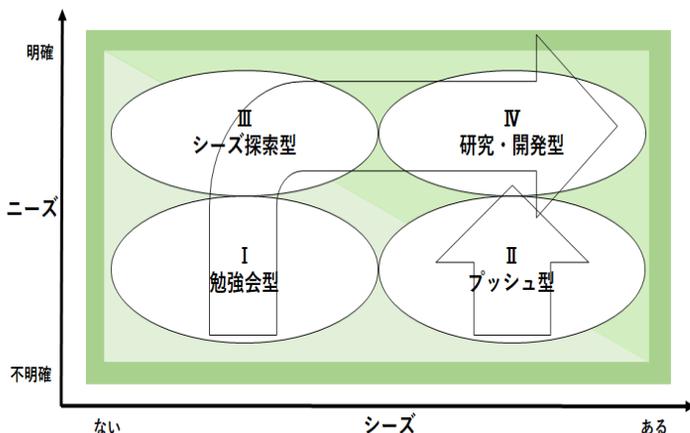
### ソリューション(Solution)

リサーチ

研究・開発

ソリューション

デリバリー



➤ 活動：研究・開発へのアプローチを4つの型で推進

#### I. 勉強会型

既存の社内活動と連携しながら、講師を招聘するなどして勉強会を開催することによりアイデア創造を目指す取組み

#### II. プッシュ型

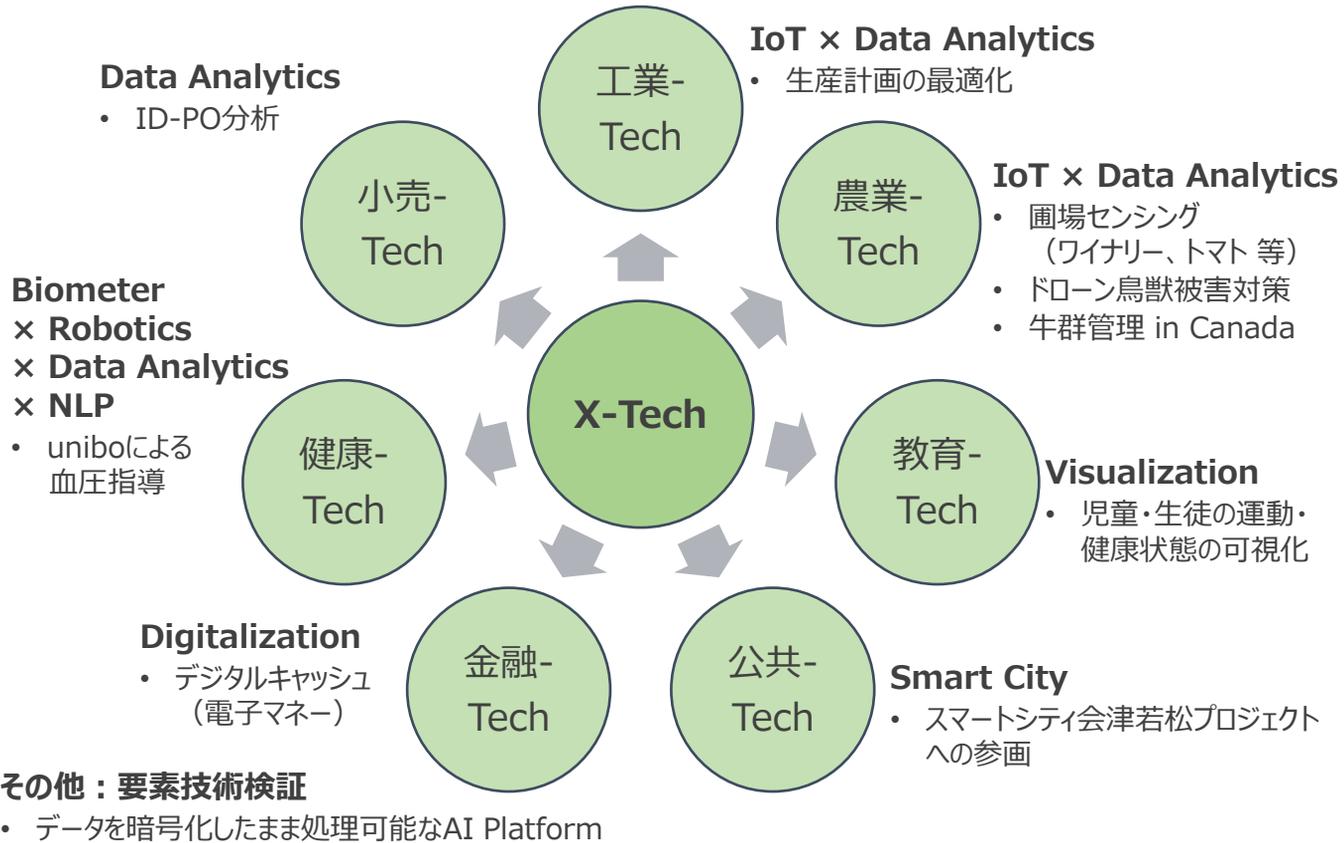
組織や個人のもつ知識や技術などをきっかけとしたアイデア創造の取組み

#### III. シーズ探索型

オープンイノベーションによるアイデア創造の取組み

## 【研究・開発活動のご紹介】

➢ デジタル化が進展する中、様々なジャンルにより付加価値の高いサービスが提供できるよう進化を続けます。



➢ デジタルトランスフォーメーションに向けた地域データセンター像を追求します。



※出典：総務省「地域IoT実装推進ロードマップ（改定）」  
～IoT実装による地域活性化・地域課題解決の実現～

## 福島データセンターの付加価値

- ・ 地域情報のクラウド集積と業際化によるデジタルトランスフォーメーションの地域展開
- ・ 情報の地産地消による地域に有益な情報価値を創出
- ・ 現場で有効な情報活用を提供（IoTは現場とクラウドで形成）

## (1) 「一般社団法人あいづ地域振興研究所」の活動

2017年7月、会津地域を中心に福島県の地域振興を図るため、会津地域の企業及び富士通株式会社様との協業により、福島県河沼郡柳津町に一般社団法人を設立しました。

国内における少子高齢化が進む中、それに加えて、福島県は震災と原発事故の影響という大きな課題を抱えており、未だに風評被害による地域経済への多大なる影響を及ぼしています。

当該法人では、これらの地域課題を解決する手段として、ICT（情報通信技術）を積極的に活用することで、地域振興と経済好循環の確立に寄与していきたいと活動しております。

### ◆事業活動及び主要活動概要

- ①地域振興に関する施策の調査研究事業
  - ・ 関連企業（富士通他）との連携（2017年度～）
  - ・ 関連団体（会津地方振興局他）との連携（2019年度～）
- ②地域の経済活動を活性化させる施策の実施に関する事業
  - ・ ICT/IoT活用による酒米高品質化事業（2018年度～）
- ③地域の名産物及び特産物の開発と販売の支援に関する事業
  - ・ 第1回中国国際輸入博覧会での会津産品初出展（2018年度）
- ④地域振興に資する事業体への投資
  - ・ 柳津観光船(株)様へ出資（2017年度）
- ⑤その他当法人の目的を達成するために必要な一切の事業
  - ・ 只見線の復旧・復興を応援（2019年度～）



平成23年7月新潟・福島豪雨で大きな被害を受け、現在2021年度中の全線再開通に向けて復旧工事が進められている只見線。当研究所では、只見線の全線復旧を願う地域住民、地元自治体を始め関係団体の方々とともに、復旧・復興に向けた取組みを行って参ります。

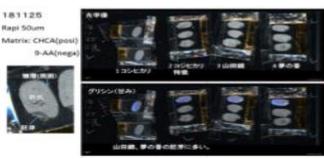


金賞22銘柄（内会津地方：11銘柄）

### 酒米高品質化事業



IoT水門の設置



データ分析

### 博覧会への出展



### 只見線復旧・復興



## (2) 「ふくしま創生 創・蓄・省エネルギービジネス創出研究会」の活動

地球温暖化や震災、原発問題等を受け、低酸素・循環型・自然共生社会が希求され、福島県はもとより日本国内外において様々な研究、事業、実証実験等が行われ成果をあげています。

当研究会は、それら個々の取り組みから学び、また会員の持つアイデア、シーズ、ニーズを合わせ、『創エネルギー』、『蓄エネルギー』、『省エネルギー』の3分野におけるビジネスを福島の地において創出し、福島の創生に貢献することを目指し、2015年4月14日に設立いたしました。

会員は、福島県内企業を中心とした産・学・官により構成されています。運営は、補助金等の外部資金に頼らずに、産が運営・活動資金を拠出し、活動を主導する形で運営してまいりました。

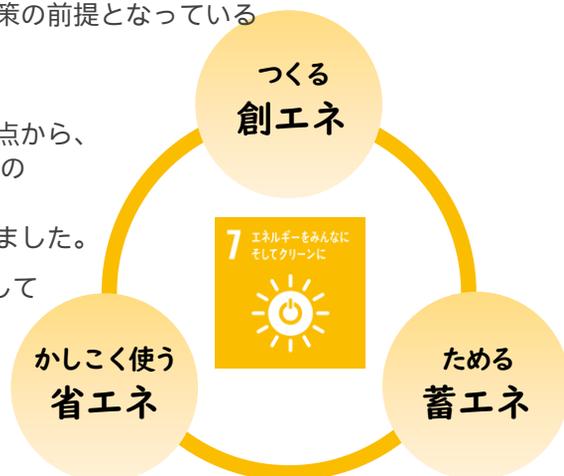
2019年度は、環境先進国として有名なドイツ連邦共和国の取り組みを学ぶべく、2019年8月25日から9月1日の8日間の視察研修を実施いたしました。

2020年度は、上記視察研修を受けつつ国内動向を学ぶべく、『地元から始まる持続可能な地域づくり』と題した会員向けの講演会を実施し、国内の環境政策の前提となっているSDGsやパリ協定といった海外動向を学んだり、国内の環境政策を概観したりいたしました。

当該講演会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、Web会議システムを用いたオンラインと会場に集合してのオフラインとを併用した形での開催となりましたが、活発な質疑応答も行われ盛会のうちに終えることができました。

2020年度下期は、官民連携型の取り組み例の一つとして地域新電力についてやSDGsをより深く学ぶための会員向け講演会を開催いたしました。

今後も、会員一同力を合わせ、福島発のエネルギービジネスの創出を目指し、邁進して参ります。



# データセンターが貢献する サステナブル社会

## (1) データセンターの紹介と環境負荷低減

福島データセンターは CO<sub>2</sub> 排出量を抑制し環境への負荷軽減を図るために、電力消費量を抑える取り組みを実施しています。

データセンターの消費電力の約3割はサーバの排熱を処理する冷却に使用されるのが通説となっており、いかに冷却効率を高めるかが消費電力を抑えるポイントとなっています。福島データセンターはサーバの排熱を完全に密閉し排熱だけを冷却するHACS(Hot Aisle Containment System)を導入し冷却範囲を局所化する事により冷却効率を高めています。合わせてDCIM(Data Center Infrastructure Management)との組み合わせにより、排熱量により空調ファンの回転数を最適に制御する仕組みや水冷式空調機の導入で消費電力を削減する仕組みも導入しています。寒冷地のロケーションを活かし空調機の冷媒を外気で冷却するフリークーリングシステム、太陽光発電の活用、敷地の緑化など様々な取り組みにより環境負荷の低減に取り組んでいます。

### 【福島データセンター概要】



立地：福島市、敷地面積 (9,614㎡)  
建屋：3階建て、免震、延床面積 (3,216㎡)  
設備：高規格仕様 (高い「信頼性・安全性・可用性」)  
J-Tier4相当  
環境：再生可能エネルギー採用、省エネ設備

#### <主な認証>

- ・ISO/IEC 27001
- ・ISO/IEC 27017
- ・ISO/IEC 20000-1:2011
- ・ISO 14001
- ・プライバシーマーク
- ・FISC安全対策基準 (設備基準)
- ・L GWAN-ASPファシリティサービス登録事業所
- ・医療情報システムに関する安全管理ガイドライン準拠
- ・総務省：届出電気通信事業者1-12-366

### 太陽光発電



太陽光発電をサーバールームで消費

### HACSシステム



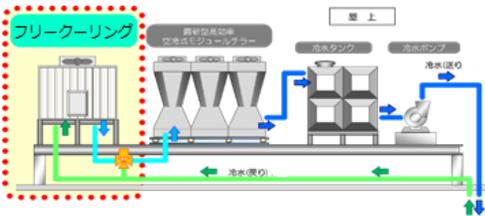
水冷式空調を採用しホットアイルを完全密閉したモジュール型ラックを採用

電力コストは、お客様の負担にもつながります。  
高効率な空調機とフリークーリングの活用により、環境にも、お客様のビジネスにもやさしいデータセンター、それが福島データセンターです。

## 排熱の封じ込みとフリークーリングで、高効率で自然環境にやさしい冷却システムを実現

自然環境にやさしいデータセンターを実現するため、東北地方の寒冷な気候を生かしたフリークーリングや太陽光発電などを取り入れてます。自然エネルギーを最大限に活用することで、CO<sub>2</sub> 排出を可能な限り削減しています。データセンター全体の電力消費量の中で冷却の消費電力量は大きな割合を占めます。そこで、高効率な冷却システムを導入することで電力効率としては、PUE 1.3 を目標に排熱の封じ込めと水冷式空調機を採用しました。

### フリークーリングシステム



フリークーリング(Free Cooling)とは、外気温度の低い中間期、冬期に冷却塔で水冷媒を外気を使い冷却。その後チラーで電気を使い定格温度まで冷却することから大きな省エネルギー効果が期待されます。

## (2) データセンターが高度に共助し貢献する「F C Aセンター相互応援コンソーシアム」について

2019年10月に東ブロック内防災訓練を実施し翌月にいわき市「スパリゾートハワイアンズ」にて第7回東ブロック会議を開催いたしました。防災訓練は架空都市を被災地とし、発災後3日目、4日目を仮想時間1日に置き換えた訓練を実施しました。当社はファシリテーターとして、訓練の骨子から検討を実施しブロック内防災スキルの向上に寄与しました。東ブロック会議では訓練の振り返りをメイン議題として討議を行うと共に、初めて外部講師として能美防災株式会社様をお招きして「データセンターに於ける最新の防災システム」をテーマにプレゼンテーションを実施頂き、知見を広げることが出来ました。

2020年7月に東ブロック会議を開催予定でございましたが、コロナ禍の状況下では集合開催が困難なこともあり、今後の在り方も踏まえ検討している状況です。会の運営方法も含め東ブロック長（当社）として主導的な立場でコンソーシアムを運営しております。

東ブロック会の様子



# 信頼への取り組み

## (1) 品質向上 (ISO9001) への取り組み

当社のシステム部門は、ソフトウェア開発サービスを行う情報サービス業として、品質の重要性を認識し、2001年10月に品質マネジメントシステム(QMS)を制定しました。

2002年6月に、財団法人日本品質保証機構のJQAマネジメントシステム登録の公表と登録マークの使用の認定を受けましたが、2010年3月より日本検査キューエイ株式会社に認証機関を変更し、2018年7月には2015年版適用規格に変更認定されました。

また2021年度は対象部門の拡大を予定しており、より一層品質の向上を図って参ります。

登録組織 : システム本部  
医療ソリューション部、第一ソリューション部、第二ソリューション部  
登録範囲 : 顧客要求仕様に基づくソフトウェアの設計及び開発・導入  
(要員派遣・設計開発を伴わないお客様をフォローするための保守・アウトソーシング業務は除く)  
登録事業所 : エフコム本社  
関連事業所 : 福島JAオフィス  
株式会社エフコムマーケティング(ソリューション事業本部)

なお、品質マネジメントシステムの目的は、登録組織のプロジェクトおよびプロセスに対して適用され、品質の作り込みと維持活動を継続的に行うことにあります。



REGISTERED ORGANIZATION  
No.4177-ISO9001  
地域・医療ビジネス本部  
郡山本社/JAオフィス

## (2) ITサービスマネジメント (ISO20000) への取り組み

当社福島データセンターのシステム運用部門は、2014年にITサービスマネジメントシステム(ITSMS)を制定し、2015年2月にISO20000の認定を取得しました。ISO20000は、お客様のニーズとビジネス要求に合致したITサービスを提供するための一連の仕組みが備わっていることを証明する認証資格です。

登録組織 : 福島データセンター  
登録範囲 : 福島データセンターにおけるハウジングサービス

ISO20000を取得することで、当社ITサービスに対するお客様の信用・信頼を高め、サービスの満足度向上に取り組んでいます。



REGISTERED ORGANIZATION  
No.T009-ISO/IEC20000-1  
福島データセンター

## (3) 情報セキュリティマネジメント (ISO27001) への取り組み

当社のシステム運用部門は、2000年に情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)を制定し、2003年9月にISMS(Ver2.0)の認定を取得、2007年9月にISO27001への移行認定を受けました。認定規格は当社のDCサービス部、インフラサービス部の基盤運用およびシステム運用に係わる福島データセンター、会津iDCの業務、要員に適用され、認定に基づく情報セキュリティマネジメント活動を日々行っています。

また福島データセンターは、FISC安全対策基準(設備基準)の認証を受けています。

登録組織 : 福島データセンター、会津iDC  
登録範囲 : 受託計算サービスの運用、ホスティングサービスの運用、ハウジングサービスの運用、クラウドサービスの運用

ISO27001を取得することで、お客様の情報資産を様々なリスクから守り、安定した運用サービスを提供いたします。



REGISTERED ORGANIZATION  
No.I247-ISO/IEC27001  
福島データセンター  
会津iDC

## (4) クラウドサービスセキュリティ(ISO27017)への取り組み

当社のクラウドサービスは、2019年9月にクラウドセキュリティの国際規格となるISO/IEC 27017に基づいた「ISMSクラウドセキュリティ認証(適用規格; JIP-ISMS 517-1.0)」を取得しました。

この規格はクラウドサービスの普及によりクラウド環境のセキュリティ対策の重要性が高まる中で、ISMS情報セキュリティマネジメントシステムをベースにクラウドサービス特有の情報セキュリティ対策にフォーカスした管理策が示されており、当社はこれに準拠したクラウドサービスの運用管理を実施しています。



REGISTERED ORGANIZATION  
No.U012-JP-ISMS517-1.0  
福島データセンター

登録組織 : 福島データセンター  
登録範囲 : 福島データセンターにおけるクラウドサービスプロバイダーとしてのIaaSサービスの提供  
・エフコム コミュニティ クラウド  
・エフコム プライベート クラウド

ISO27001に加えISO27017を取得することで、クラウドサービスのセキュリティ強化につなげ、お客様へより安全で安心なクラウドサービスを提供いたします。

## (5) 個人情報保護(Pマーク)への取り組み

当社は、1998年10月に個人情報保護マネジメントシステム(PMS)を制定し、1999年2月には、一般財団法人日本情報経済社会推進協会のプライバシーマーク付与の認定を取得しました。

個人情報保護マネジメントシステム(PMS)は、当社の取締役、正社員、契約社員、パート・アルバイト及び派遣社員を含む全従業員に適用され、全社の部署、拠点が対象となっています。

当社では、情報サービス業を営む企業として個人情報保護の重要性を社会的立場から認識し、個人情報保護マネジメントシステム(PMS)を策定し、管理・運用体制を確立させ社員個人情報を含む事業の用に供している「個人情報」全てについて適切な保護に努めています。

当社は、受託業務、パソコン・サーバ等の情報機器販売及び保守、アウトソーシングサービス、パソコン教室など情報サービス業として、大量の個人情報を取り扱っており、早くから個人情報保護の重要性を認識し、プライバシーマークを取得することで社内管理体制の更なる強化をねらいとしています。

また、改正個人情報保護法や番号法及び、JISQ15001:2017版への対応をいち早く終了し、顧客満足の向上を図っていきます。



## (6) 環境マネジメントシステム(ISO14001)への取り組み

当社では、2005年3月に本社地区及び会津地区の事業所において、国際規格であるISO14001:2004に基づく環境マネジメントシステムを構築し、認証取得をしました。その後福島地区の一部の事業所を追加し、2018年7月には最新バージョンであるISO14001:2015に移行を完了し、環境マネジメントシステムの運用並びに継続的な改善活動を行ってまいりました。

認証の取得から約16年が経過し、社員がシステムの運用に習熟し、環境配慮活動への取組が継続可能であることや、運用コストの削減等を理由に、2021年3月をもって認証の返上を行いました。認証は返上しましたが、16年間の活動で培った環境マネジメントシステムの運用ノウハウを活かし、引き続き環境に配慮した活動の推進と継続的改善を図ってまいります。



# エフコム 40周年特集

エフコムは2020年9月12日に創立40周年を迎えました。

創立40周年を迎えるにあたり、これまで社員を支えてきたご家族を招待し、日頃は口に出して言いにくい「感謝の気持ち」を込めたイベント「家族への感謝の集い」を開催しました。

## ◆日程

1回目：2020年2月 1日～2月 2日

2回目：2020年2月22日～2月23日

## ◆会場

スパリゾートハワイアンズ  
福島県いわき市常磐藤原町蕨平50

## ◆参加人数

488名

うち社員：233名

家族：255名



## ◆イベント内容

「射的」や「輪なげ」、「ポップコーン」「わたあめ」など、10を超える特設屋台が設置された縁日、豪華景品が並ぶビンゴ大会、エフコムダンシングチームと子どもたちによる「パブリカ」のダンス、ハワイアンズフラガールズによるパフォーマンスなど、大人から子供まで楽しめる、素敵なイベントとなりました。



# 株式会社エフコム 40年のあゆみ

1980年代

1990年代

2000年代

2010年代

1980年9月 富士通エフ・アイ・ピー(株)と地元有力企業及び個人の共同出資により、資本金5千万円でスタート

【設立：1980年9月12日

株式会社 福島ファコムセンタ としてスタート】



1981年4月に実施された、設立披露パーティーの様相

1981年4月 汎用機 FACOM M140F を導入  
地元健康保険団体連合会・地元信販会社クレジット業務のソフト開発開始



## 1980年代

## 1990年代

## 2000年代

## 2010年代

- 1981年7月 地元タイヤ販売会社「債権・販売・在庫管理」業務処理開始
- 1981年8月 福島市に福島事務管理センタを開設し、データエントリーマシンXL-40を15台導入
- 1981年12月 FACOM M140FにF6715（日本語ラインプリンタ）増設
- 1982年4月 地元健康保険団体連合会・地元信販会社業務委託処理開始  
F6317（光学読取装置）導入
- 1982年7月 資本金1億円に増資
- 1983年4月 地元石油販売会社「SS業務」、地元診療所「医事会計」業務処理開始  
東京都港区新橋の富士通エフ・アイ・ピー(株)内に、東京事務所開設
- 1983年1月 富士通エフ・アイ・ピー(株)とマシン(FACOM M340R)共同利用開始
- 1983年4月 地元信販会社のクレジット業務処理に、CDオンライン機能追加
- 1984年1月 全国ネットワーク（富士通VAN）アクセスポイント基地開始
- 1984年11月 福島事務管理センタを、支社へ昇格
- 1985年4月 地元電算センターマシン運用管理業務受託開始
- 1985年7月 地元キャプテンサービス会社の運用管理業務開始
- 1985年10月 データエントリーマシンDP9070にレベルアップ
- 1986年8月 地元キャプテンサービス会社とマシン（FACOM M340S）共同利用開始
- 1987年10月 地元テレビ会社「営業放送システム」業務処理開始
- 1988年12月 ホストマシンFACOM M340Uにレベルアップ
- 1989年5月 郡山本社・福島支社にショールーム開設  
福島支社システム部・営業部等読売民友ビル別館へ移転
- 1989年8月 東京寮設備（19部屋）拡張移転
- 1989年12月 福島支社エントリー課読売民友ビル別館へ移転

1980年代

1990年代

2000年代

2010年代

1990年4月 会津若松市内に、会津事務所開設

1991年4月 会津若松市内の会津事務所を、会津営業所に昇格

1992年4月 システム開発本部を開設し、野村証券ビル（郡山駅前）に移転

1993年5月 東京事務所を東京支社へ昇格

富士通エフ・アイ・ピー(株)FENICS東京第二センタ（川崎市中原）内に移転

1993年6月 『平成4年度富士通ディーラー全国伸長功労賞（C2ランク1位）』受賞

1995年8月 資本金1億5千万円に増資

1996年3月 福島支社を、福島駅前ユニックスビル（福島市栄町6-6）へ移転

1996年4月 本社を、エディソン・ファコムビル(郡山市堤下町13-8)へ移転



1996年6月 会津若松市内の会津営業所を、会津支社に昇格

1996年12月 通産省『安全対策実施事業所』として認定

1997年3月 通産省『システムインテグレータ企業』として登録

1997年4月 仙台市内に仙台支社開設

1998年3月 通産省『特定システムオペレーション』として認定

1980年代

1990年代

2000年代

2010年代

1998年9月 社名を『株式会社 エフコム』へ変更

“福島から、世界へ羽ばたこう”

◆シンボルマークについて◆

英文のエフを、大空に羽ばたく鳥にシンボライズ。中心に地球を配し、世界を視野に入れた積極性を表現。



福島民報 1998年9月1日掲載

1998年12月 西暦2000年問題を機にホストマシン GS8300E/10S 導入

1999年2月 日本情報処理開発協会『プライバシーマーク』取得

1999年4月 会津若松市内に100%子会社である株式会社会津エフコムを設立

1980年代

1990年代

2000年代

2010年代

2000年4月 インターネットプロバイダー事業 e-sense を開始

2000年5月 インターネットステージを郡山市に開設



2002年6月 システム本部で『ISO9001:2000』を取得

2002年10月 仙台支社を、橋本地所仙台榴岡第二ビル  
(宮城県仙台市宮城野区榴岡4-5-15)へ移転

2003年3月 経済産業省『システムインテグレーション企業』として認定

2003年5月 ホストマシン GS8300E/10S から、PRIMEFORCE 2105M に入替

2003年8月 資本金2億7千万円に増資

2003年9月 日本品質保証機構『情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)』認証

2004年5月 会津若松市内に会津iDCを開設



1980年代

1990年代

2000年代

2010年代

2004年6月 ホストマシン PRIMEFORCE 2105M から PRIMEFORCE 2115M にバージョンアップ

2004年7月 東京支社を、日通銀座ビル（東京都港区東新橋1-2-8）へ移転

2005年3月 郡山本社、会津iDCで『ISO14001:2004』を取得

2006年1月 情報サービス本部をNBFユニックスビル6階（福島市栄町6-6）へ移転

2006年5月 営業本部をTS郡山本町ビル（郡山市本町1-4-15）へ、東京支社を、MID日本橋堀留町ビル（東京都中央区日本橋堀留町1-7-7）へ移転

2007年7月 株式会社ココム（東京都）と株式譲渡締結

2008年11月 株式会社福交電算システム（福島県福島市）と株式譲渡締結

2010年9月 株式会社エフコム 創立30年を迎える

2011年12月 東京支社を、友泉岩本町ビル（東京都千代田区岩本町2-3-3）へ移転

2012年12月 ホストマシン PRIMEFORCE 2115M の全業務終了により撤去  
[当社における創設依頼の汎用機業務の終了]

2013年7月 株式会社福交電算システムを株式会社エフコム福交システムズへ社名変更

2014年9月 福島市内に福島データセンターを開設



2015年3月 福島データセンターで『ISO20000』を取得

1980年代

1990年代

2000年代

2010年代

2015年6月 代表取締役会長 兼 CEOに酒井 良信が就任  
代表取締役社長 兼 COOに瓜生 利典が就任

2016年4月 株式会社エフコムホールディングス設立  
株式会社エフコムホールディングスの100%子会社となる

2016年10月 エフコムの森 管理・保全開始

2017年4月 関係会社 株式会社エフコムサービシーズ（カナダ）設立



カナダ大使館で実施された、オープニングセレモニーの様様

2019年4月 会津若松市内にFCOM・DIGITAL・LABを開設



2019年9月 福島データセンターで『ISO27017』を取得

2020年3月 経済産業省「健康経営優良法人2020(大規模法人部門)」認定

2020年9月 株式会社エフコム 創立40年を迎える

2020年10月 経済産業省「地域未来牽引企業」選定

2020年12月 関係会社 株式会社エフコム福交システムズを  
株式会社マイコムへ社名変更（本社を宮城県仙台市へ移転）

TO THE FUTURE...

# ビジネスインフォメーション

## Product Service パッケージソフト開発

当社の長年にわたるシステム開発実績で蓄積されたノウハウを提供することにより、短期間でお客様にソリューションを提供いたします。



## Cloud Service クラウドサービス

最先端のICTと長年培ってきた業務ノウハウから生み出されたビジネスプラットフォームです。従来の枠を超えて、お客様の事業革新とビジネス加速をご支援いたします。



## Field Support お客様サポート

コールセンター、カスタマサービスなど、常にお客様の身近な存在でサポートいたします。そしてお客様への安心と満足を提供いたします。



## Business Process Outsourcing 業務アウトソーシング

お客様の業務を定型化し弊社スタッフがお客様に代わり業務運用を担当いたします。お客様は本来の業務に資源を集中する事が可能になります。



## Media Archive Service メディア・アーカイブサービス

お客様の貴重なメディア媒体を、安全安心にご指定の媒体へデジタル化を行います。

デジタル化されたデータは、高度なセキュリティを確保した当社のデータセンターに保管されます。保管した映像を、クラウド上で検索・編集するサービスもご提供しています。

## Software Design

### ソフトウェア開発

多くのソフトウェア開発実績を保有します。IoTによるデータ解析やモバイルデバイスの新たな活用など、先端システムへの対応もいたします。



## Information Devices sales Supply sales

### 情報機器／サプライ品販売

PC、タブレット、サーバー等の情報機器を提供いたします。

サプライとなるプリンタトナーや各種PCアクセサリを豊富に品揃え、毎日のオフィスワークをトータルにサポートいたします。



## System Integration 導入システム企画

豊富な業務システムの構築経験を活かし、システムのライフサイクルに基づく最適化をサポートいたします。お客様のニーズにお応えできる専門家集団として、企画・構築・運用をトータルにご支援いたします。

## Security Support セキュリティ対応

日々高度化、巧妙化するサイバー攻撃への対策は、ICTを安心安全に活用していくための大きな課題となっています。お客様のセキュリティ環境が常に最適な状態を維持できるためのご支援をいたします。

## 会社概要

社 名：株式会社エフコム F-COM Co.Ltd.  
本 社：〒963-8520 福島県郡山市堤下町13番8号  
代 表 者：代表取締役社長兼COO 瓜生 利典  
設 立：1980年9月12日  
資 本 金：2億7千万円  
売 上 高：93億9千万円（2021年3月期）  
従 業 員 数：363名（2021年3月31日現在、正社員数）  
関 係 会 社：株式会社エフコムホールディングス  
株式会社エフコムマーケティング  
株式会社マイコム



<本報告書の対象範囲>

(対象期間)

2019年10月1日～2021年3月31日

ただし、一部には2019年9月以前、2021年3月以降の  
考え方、取り組み及びデータ等が含まれます。



〒963-8520 福島県郡山市堤下町13番8号  
URL <https://www.f-com.co.jp/>  
発行 2021年6月21日  
発行責任者 代表取締役社長兼COO 瓜生 利典  
企画・編集責任者 執行役員 常松 定則  
発行部署 広報委員会  
お問い合わせ先 事業支援本部人事総務部  
TEL 024-922-2555  
FAX 024-922-2696

※ユニバーサルデザインフォント「みんなの文字」を使用しております。

